



○確実に力をつけている児童・生徒!! (大槌町学力調査の結果から)

大槌町学力調査の結果が出ました。この学力調査は、児童生徒の学力を把握・分析し、その成果・課題を検証して授業改善に生かすことと、集団、個々の結果を9年間で追うことや、4-3-2のそれぞれの区切りで成長の見取りをすることを目的に行っています。(グラフは偏差値:全国平均50)

令和3年度、令和4年度の8年生の結果の特徴として、具体から半具体、抽象的な学びへと移る5、6年生で一旦下がり、7年生から8年生に盛り返していく傾向がありました。

昨年度、今年度の特徴として、5、6年生における学びの定着が改善されていることが下のグラフからわかります。

各学力調査の質問紙の結果を見ても、強い肯定的な回答と肯定的な回答の割合が全国、県を上回る項目が7割から8割を占めていることから、大槌町の各学園の児童・生徒は、前向きに学習・生活ができているとわかります。

大槌町の各学園の先生方が、児童・生徒と伴走してそれぞれの学園づくりをしてきた成果が、数字でもはっきりと表れています。

自信を持って言えます。「大槌町の先生方の取り組んでいる教育に間違いはありません。」

改訂「教育のまち、大槌町教育大綱」には、大槌町の目指す教育の基本方針が8項目で示されています。その達成に向けて、大槌学園は、特色ある新しい教育課程の編成に入りました。吉里吉里学園は、施設一体型の学園づくりについて地域やPTAからの要望があり、新しい学園づくりに向けて検討を始めています。常にブラッシュアップしている大槌町の教育を創っている先生方に感謝すると共に『2050年の大槌をつくる教育を「ともに」つくる』をテーマに、教育委員会も伴走させていただきます。

